

ラオス国立大学による
東京外国語大学学生に対するラオス語短期研修ショートビジット報告

2023.4.22.

特定外国語主任教員
ブアソーン タムマチャック

東京外国語大学ラオス語専攻は1年次生9名、2年次生7名、合計16名に対し、ラオス国立大学文学部ラオス語学文化学科にてラオス語、およびラオス文化に関する講義、そして日本語学科にてタンデム学習を実施しました。また、校外学習として、首都ビエンチャンにある歴史的建造物や文化施設の見学、さらには伝統的な文化行事に参加しました。今回のショートビジットは第9回目で、2023年2月20日から3月3日の日程で執り行われました。

まず、2月20日の研修プログラムの開始に先立ち、文学部副学部長やラオス語学文化学科の先生方のご臨席のもと、開講式が開催されました。そしてその後、さっそくラオス語の講義やさまざまな交流、体験学習の研修プログラムに入りました。以下にその詳細を報告致します。

ラオス語・ラオス文化の講義は2クラスに分かれ、各クラスとも読解と会話の授業がありました。読解は、内容理解、発音の向上、語彙力や表現力の強化、内容要約の実践に重点が置かれました。一方の会話は、会話表現の習得、発音の向上、自由会話の実践に重点が置かれました。教材は主にラオスの人々の日常生活に関するトピックを扱ったものでした。



ラオス語講義の様子



ラオスの学生と一緒にラオス舞踊

2年次生が「日本の世界遺産」、1年次生が「日本の子供の遊び」について発表をし、質疑応答の後、けん玉やあやとりなど、発表で取り扱った遊びを実際にラオスの学生と一緒に楽しみ、大いに盛り上がりました。また、ラオス側からは2回目に行うラオス国立大学紹介ビデオの作成、マークベン飾りの作成、ラオス

2月21日の午

後には、ラオス語文化学科所属の学生と交流会を行いました。お互いのプレゼントについて話したり、ラオス舞踊や歌を歌ったりして、楽しく過ごしました。次の日の22日と3月1日の午後には、日本語学科所属の学生と一緒にタンデム学習を行いました。

1回目は、本学



タンデム学習における発表



ラオスの学生にあやとりを教える様子

友好関係の深化を祈念してお互いの手首に聖糸を結び合いました。

また、ラオス語やラオス文化に関する講義やタンデム学習の他に、タートルアン、シェンクワン寺、パトゥー

のお菓子作り、ラオス正月行事でのバーシー式に関する事前説明があり、2回目の当日は、その説明を受けてグループ分けを行い、日本とラオスの学生が協力してそれぞれの課題に取り組みました。そして最後に一堂に会して各グループの成果発表として、一緒に作ったお菓子を食べたり、バーシー式を執り行い、今回のタンデム学習

の成功を祝うと同時に今後のさらなる

の重要な歴史的建造

物を見学したり、ラオス人のお宅で喜捨などをはじめ

としたラオス独特の由緒ある伝統文化行事に参加したりしました。

3月3日は最終日で、閉講式が執り行われました。研修内容のまとめと成果報告の後、文学部副学部長から今回のショートビジットが成功裏に終わったことに関するお褒めのお言葉と共に、学生に修了証書が



伝統行事で喜捨を体験

手渡されました。その後、学生代表と引率教員である私から今回のショートビジットでは、単にラオス語を学ぶ機会を得て上達したということだけではなく、実際のラオスの雰囲気やラオスの文化を体感することができたこと、ラオス国立大学の学生との交流を通して互いの友情を深め合い、とても楽しかったことなどの感想と共に、協定校の心温まるご配慮に心よりお礼を申し上げます。こうして名残を惜しみながらも無事に2週間のショートビジットの幕を閉じることができました。

最後に今回のラオス語専攻ショートビジットは、本学 Joint Education Programme の支援を受けて実施されました。ここに記してお礼を申し上げます。どうもありがとうございました。



皆と一緒にバーシー式の用意



閉講式